《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》倉橋 昌司（非）

【概要】

人体構造機能学、解剖学、生理学と合わせて、解剖・生理学の知識と考え方を会得し、人体の構築と機能の恒常性を維持する機構の巧妙さを学ぶ。このシリーズの講義は、今後開講される病理学、病態学、看護学などを習得する上で基礎となるものである。

【学習目標】

人体構造機能学では、神経・感覚器の構造と機能を正しく理解し、人の生きるしくみにどのように関わっているのか説明できるようにすることを目標とする。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	情報の受容と処理 1	神経系の構造と機能 1 神経細胞と支持細胞、ニューロンでの興奮の伝導	倉橋
2	情報の受容と処理 2	神経系の構造と機能 2 シナプスでの興奮の伝達	倉橋
3	情報の受容と処理 3	神経系の構造と機能 2 神経系の構造 脊髄と脳 1 脊髄の構造と機能	倉橋
4	情報の受容と処理 4	脊髄と脳 2 脳幹の構造と機能	倉橋
5	情報の受容と処理 5	脊髄と脳 3 小脳と間脳の構造と機能	倉橋
6	情報の受容と処理 6	脊髄と脳 4 大脳の構造と機能、脳室と髄膜、脳脊髄液の循環	倉橋
7	情報の受容と処理 7	脳の高次機能	倉橋
8	情報の受容と処理 8	脊髄神経と脳神経 脊髄神経の構造と機能、脳神経の構造と機能	倉橋
9	内臓機能の調節 1	自律神経による調節 自律神経の機能、自律神経の構造	倉橋
10	情報の受容と処理 9	感覚機能と上行伝導路	倉橋
11	情報の受容と処理 10	眼の構造と視覚 1 眼球の構造、眼球付属器	倉橋
12	情報の受容と処理 11	眼の構造と視覚 2 視覚	倉橋
13	情報の受容と処理 12	耳の構造と聴覚・平衡覚	倉橋
14	情報の受容と処理 13	味覚と嗅覚 味覚器と味覚、嗅覚器と嗅覚	倉橋
15	情報の受容と処理 14	疼痛（痛み）	倉橋

【評価方法】

定期試験 100%

【備考】

教科書：系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学：人体の構造と機能、坂井建雄・岡田隆夫共著 医学書院

参考書：ぜんぶわかる人体解剖図 系統別・部位別にわかりやすいビジュアル解説、坂井建雄・橋本尚詞共著 成美堂出版

【学習の準備】

初回に配付されたプリント記載の各回授業内容詳細および教科書対応ページを参考とし、各回の授業内容および学習課題について予習すること。（40分）

各回授業における問題を中心に授業内容を復習すること。（20分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2